



学校だより (9)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591 ◇<http://www.hjschl.org> ◇e-mail info@hjschl.org

お茶の話

校長 福原輝幸

「日常茶飯事」という言葉があるくらい、
現在では、お茶は生活に定着していますが、
その歴史はあまり知られていません。

お茶は、紅茶と緑茶に分けられますが、こ
れは作られる工程の違いで、茶葉はどちらも
同じ。茶葉を醗酵させたものが紅茶、そうで
ないものが緑茶です。

今日、世界のお茶の消費量の80%は紅茶
ですが、その半分はイギリスで飲まされていま
す。イギリスでは、お茶は国民的飲料として、
独自の紅茶文化を形作っています。

さて、お茶の原産地は中国で、当時は高級
品としてまた病を治す薬として不老長寿の靈
薬として珍重されていました。

三国時代、蜀の皇帝劉備玄德は、青年の頃
母親にお茶を飲ませたく、茶葉を購入するた
め、到着する貿易船を、長い間港で待ってい
たという話が伝わっています。

日本では、奈良時代に紹介され、広く飲ま
れるようになったのは鎌倉時代、安土・桃山
時代に「和敬静寂」の理念に至る茶の湯を千
利休が完成させ、その後、幾多の流派に分か
れ、現在に続いています。

ところで、ここ10年、ペットボトルを持
ち歩いてお茶を飲む人の姿が増え、お茶の消
費量は2倍を越えるようになりました。

理屈はこれくらいにして、至福の時間とす
べく、お気に入りの器でお茶を一服。

かみしめたい言葉

イネは、夜に育つ。
誰にも見られていない時に育つ。
ヒトも同じ。
自分ひとりの時間に何をするかで決まる。

読みに徹し、諳（そら）んじること

教科書を、毎日声を出して、読ませて下さ
い。

大きな声で、諳（そら）んじるほどに、繰
り返し繰り返し読ませて下さい。

学習の定着には、継続と根気強さが大切で
す。

お母さん、お父さん。

一度声を出して、教科書や物語を読んであ
げて下さい。

子どもたちに、新しい発見があることでし
ょう。

< 行事のお知らせ >

6月6日、13日

個別面談

6月13日

海外子女文芸作品コンクール

作品提出締切日

6月14日 ~ 7月17日

夏休み

(6/20~7/13 事務所閉鎖)

7月18日

前期後半の授業開始